

## ◎ソセゴン注射液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】ペンタゾシン (U) Pentazocine 【分類】鎮痛剤

【単位】◎15mg・▼30mg/A [1mL]

【常用量】■鎮痛：1回15mg, 3~4hr 毎■麻酔補助投薬：30~60mg

【用法】■鎮痛：3~4hr 毎に皮下注, 筋注■麻酔補助投薬：筋注, 皮下注, 静注

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【その他の報告】50%に減量 (2,3,6,12,17)

【PD】データなし, できれば避ける (17) データなし (12)

【CRRT】データなし, できれば避ける (12,17)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (10)

【その他の報告】GFR 10~50mL/min : 75%に減量, GFR 10mL/min 未満 : 50%に減量 (3,12,17)

【特徴】アゴニスト・アンタゴニスト作用を有するベンゾモルファン系の非麻薬性中枢性鎮痛薬。モルヒネ 10mg に本剤 30mg が匹敵。呼吸抑制は用量依存的に増強しない。反復投与で耐性が生じ 60~90mg4 時間間隔で身体依存性が生じる。オピオイド  $\kappa$ ,  $\sigma$  受容体のアゴニスト,  $\mu$  受容体のアンタゴニスト (U)

【主な副作用・毒性】ショック, 呼吸抑制, 依存性, TEN, 無顆粒球症, 神経原性筋障害, めまい, 血圧上昇, 悪心など

【吸収】95% (11)

【tmax】内服 1~3hr, 筋注 15~60min (11)

【代謝】肝代謝 (11) 代謝物に活性はない (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 11~13% (1) 5~23% (U) 12% (4) 10%以下 (11) 5% (14) 胆汁中に排泄 (U)

【CL】1317mL/min (1) 腎 CL=45mL/min (1) 【非腎 CL/総 CL】80% (10)

【t1/2】2~3hr (U) 2hr (11) 2.5hr (14) 2~5hr (12) 【透析患者の t1/2】2~3hr (U)

【蛋白結合率】48~75% (11) 16~66% (1) 60~70% (6) 65% (10) 中等度 (U) 50~75% (12)

【Vd】5.6L/kg (10) 250~550L/man (11) 4L/kg (14) 370~415L/man (1) 5L/kg (12) 【分布】赤血球内にも血漿濃度の 50%分布する (11)

【MW】285.42

【透析性】透析で除去されるとする報告 (JPDI, 1996) もあるが, Vd が大きいいため透析性は低いと思われる (5)

【TDM のポイント】TDM の対象にならない。有効治療域 100~600ng/mL (14) 【pKa】8.0, 9.7 (1) 【OW 係数】資料なし (1)

【相互作用】ナルメフェン塩酸塩水和物を投与中又は投与中止後 1 週間以内 : オピオイド離脱症状 (又はその悪化) のため併用禁忌 (1)

【効果発現時間】筋注 : 15~20min, 静注 : 2~3min, 皮下注 : 15~20min 【最大効果発現時間】筋注 : 30~60min, 静注 : 15~30min, 皮下注 : 30~60min

【効果持続時間】筋注 : 2~3hr, 静注 : 2~3hr, 皮下注 : 2~3hr (耐性のない患者のみ ; 長期療法では耐性が作られ, 短縮する)

【備考】長期間麻薬を使用しているものに本剤を投与すると, モルヒネに対する拮抗作用により禁断症状を起こす。精神異常作用 (離人感, 悪夢, 幻覚, 妄想等) はモルヒネより頻度が高くなるか高いため, 癌疼痛に用いるには問題が多い。筋注 60mg または経口 180mg の効果は筋注モルヒネ 10mg に相当 (U)

【更新日】20200708

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。